

移住交流支援事業（徳島県神山町）

事例の概要（事業名：移住交流支援事業）

都市部への人口流出が続いているものの、価値観の多様化による田舎暮らしの希望者も多い。行政主導ではなく、NPOの仲介による空き家情報の提供、迅速かつ柔軟な対応により、町が求める移住交流支援を推進した。

事例の内容

事業主体：神山町、NPO法人グリーンバレー

事業内容：移住交流支援事業

- ・ホームページによる情報提供
- ・空き家調査、家主との交渉・契約、清掃・荷物整理、改修
- ・お試し住宅による移住体験

取組経過：平成19年10月：移住交流支援センターを設置
平成20年 6月：イン神山HP開設(<http://in-kamiyama.jp>)

総事業費：平成23年度 1.5百万円（うち過疎債 1.5百万円）

事業の効果：平成23年度まで 移住者 28世帯 57人

ポイント

NPOによる移住交流支援をスタート
空き家情報だけでなく、神山の出来事をホームページで発信

↓
神山町が求める人材（若い世代＋子ども＋仕事）を兼ね備えている移住者を優先的に支援

- 学校に転入生が増える
- サテライトオフィスなど新たなビジネスが生まれる

○社会動態（転入－転出）がプラスに転じる○

全体人口動態

■ 転出率 ■ 死亡率 ■ 転入率 ■ 出生率

